

楠総合支所

<u>楠地区</u>	- 1
<u>四日市市楠福祉会館</u>	- 2
<u>四日市市楠ふれあいセンター</u> ...	- 3
<u>四日市市楠プラザ</u>	- 5
<u>四日市市楠歴史民俗資料館</u>	- 6

楠地区

平成17年2月7日、四日市市と楠町が合併し、「未来をひらく元気な都市づくり」を目指して新しい四日市市がスタートした。

楠町の沿革

江戸時代から楠七郷と言われる七つの村が、明治初期の廃藩置県などにより南川・南五味塚と本郷・北五味塚・吉崎、それに小倉・北一色の三つに編制された。その後の編制変えで、明治17年に小倉・北一色は他の村に編制されますが、明治22年には復帰し、再度楠七郷が一つとなって楠村が誕生した。昭和15年に町制を施行するが、この地域は明治合併以降実に116年にわたって一つの自治体として運営してきた。

楠総合支所

合併協議会の協議により楠町役場は楠総合支所となり、楠地域の住民に対して、合併後の不安を解消するため、また、これまでのサービスの低下を極力最小限にとどめるため、住民への相談事業とともに、窓口業務などのサービスを引き続き行なうほか、楠地域のまちづくり活動の支援や地域振興などの業務を行うため4課（振興課、市民福祉課、地域課、楠プラザ）の体制をとっている。

地域審議会とは

地域審議会は、市町村の合併の特例に関する法律に基づき、合併に対する懸念や不安を払拭するため、合併前の旧楠町の区域にのみ設置されたもので、その主な役割は合併前に策定し合併の是非の判断材料とした新市建設計画の進捗状況等のチェックを行い、必要に応じて市長に対して意見を述べることができるというものである。地域審議会の委員は、公共的団体等を代表する委員、事業者を代表する委員、公募による委員、学識経験を有する委員の10名からなっている。

新市建設計画とは

市町村の合併の特例に関する法律に基づき、合併の適否の判断材料として策定された計画をさす。計画期間は10年間で、計画を変更する場合には、地域審議会の意見を聞いたうえで議会の議決を経なければならないとしている。

計画では、新市のまちづくりの基本理念として「未来をひらく元気な都市」という将来像を設定して、基本目標として「人と地域がつながる大きく広がるまちづくり」「健康で安心して暮らせる快適環境のまちづくり」「人を育み活力ある未来を生み出すまちづくり」の3本柱を設定している。

四日市市楠福社会館

四日市市楠福社会館は、市民の福祉、健康の増進及び生活文化の向上に資するため、市民の誰にも開かれた複合施設として、その運営や事業を展開することを目的としている。その管理運営については、平成18年度からは、指定管理者制度を導入している。

また、大雨等の災害時には第一次避難所として指定されており警報発令時には避難所として利用されている。

施設概要

- ・所在地 四日市市楠町南五味塚60番地
- ・総事業費 約9億円
- ・竣工 平成5年
- ・敷地面積 3,525.79㎡(総面積)
- ・建築面積 1,282.44㎡
- ・延床面積 1,982.11㎡(内楠町商工会200.61㎡)
- ・構造 鉄筋コンクリート造2階建
- ・開館時間 午前8時30分から午後9時30分
- ・休館日 年末年始(12/29から1/3)

施設

(施設内容)

- ・1階 ホール、第2会議室、おもちゃ図書館、ボランティアルーム
- ・2階 第1会議室、調理室、教養娯楽室、トレーニングルーム

(収容人数)

- ・1階 ホール：300名程度、第2会議室：10名程度
- ・2階 第1会議室：50名程度、教養娯楽室1・2：100名程度、教養娯楽室3：15名程度

施設利用料金表

個人、私的団体(企業を含む)催し行事等

利用施設 \ 利用時間		午前	午後	夜間
		8:30~12:00	13:00~17:00	17:30~21:30
ホール	平日	6,000円	6,000円	6,000円
	土日祝日	8,400円	8,400円	8,400円
他の一室又は 一区画につき	平日	1,200円	1,200円	1,200円
	土日祝日	1,800円	1,800円	1,800円

営利行為を行う催し行事等

利用施設 \ 利用時間		午前	午後	夜間
		8:30~12:00	13:00~17:00	17:30~21:30
ホール	平日	12,000円	12,000円	12,000円
	土日祝日	16,800円	16,800円	16,800円

他の一室又は 一区画につき	平日	2,400 円	2,400 円	2,400 円
	土日祝日	3,600 円	3,600 円	3,600 円

上記部屋代のほか、別途冷暖房使用料がかかります。

午前及び午後を引き続き使用する場合は午前 8 時 30 分から午後 5 時まで、午後及び夜間を引き続き使用する場合は午後 1 時から午後 9 時 30 分まで、午前から夜間を引き続き使用する場合は午前 8 時 30 分から午後 9 時 30 分までの時間とし、その利用料金は各時間帯の利用料金の合計額とする。

四日市市楠ふれあいセンター（愛称：ゆめの木）

四日市市楠ふれあいセンターは、高齢者が健康を維持し、自らの意思で積極的に社会参加し、地域社会の新たな担い手として生きがいを見つけ、活動・交流していただける拠点となる場であり、また、高齢者がこれまでに培った知識や経験を活かして子育てに不安を持つ保護者の相談相手になったり、次世代を担う子供達へものづくりを伝えていく等の健全な育成を行う場として活用していただく施設である。

平成 18 年度オープン当初から指定管理者制度を導入し、管理運営を行っている。

施設概要

- ・所在地 四日市市楠町北五味塚 1 4 5 2 番地 1
- ・総事業費 約 5 億 3 千万円
- ・竣工 平成 18 年 3 月
- ・敷地面積 4,147.10 m² (総面積)
- ・建築面積 1,222.62 m²
- ・延床面積 1,102.16 m²
- ・構造 鉄骨造平屋建
- ・開館時間 午前 8 時 30 分から午後 9 時 30 分 (施設の予約受付は午後 9 時 00 分まで)
- ・休館日 年末年始 (12/29 から 1/3) 及び毎月第 2 月曜日

施設

(施設内容)

- ・屋内 多目的室、創作室、談話室、ふれあい室、リラックスルーム (無料)
足湯 (無料。開放時間は午前 10 時 00 分から午後 4 時 00 分まで)
- ・屋外 ふれあい広場 (404.80 m²の中庭で健康遊具 10 点設置)
駐車場 (一般車 62 区画 車椅子用 2 区画)

(収容人数)

- ・多目的室：120 名程度、創作室：24 名程度、談話室：40 名程度、ふれあい室：40 名程度、
リラックスルーム：10 名程度、足湯：15 名程度

施設利用料金表

利用施設	利用時間		
	午前 8：30～12：00	午後 13：00～17：00	夜間 17：30～21：30
多目的室	1,050 円	1,050 円	1,050 円
創作室	630 円	630 円	630 円
談話室	840 円	840 円	840 円
ふれあい室	840 円	840 円	840 円

上記時間には、施設内での準備及び片付け等利用前の状態に戻すまでの時間も含まれます。

ふれあい室は休館日を除く平日の午前・午後を無料開放しています。但し、他の部屋の予約状況等によっては無料開放を中止している場合があります。

午前及び午後を引き続き使用する場合は午前8時30分から午後5時まで、午後及び夜間を引き続き使用する場合は午後1時から午後9時30分まで、午前から夜間を引き続き使用する場合は午前8時30分から午後9時30分までの時間とし、その利用料金は各時間帯の利用料金の合計額とする。

冷暖房設備・附属設備等の利用には別途利用料金がかかります。

事業概要（平成20年度）

映画鑑賞会

ふれあいマイスター活用事業

室内スポーツ教室、室内スポーツイベント、室内文化イベント、

ものづくり教室（陶芸・絵手紙・伊勢型紙・そば打ち）

各種セミナー

生きがいきづくり講演会、健康体操、足湯セミナー、気功、大型遊具による多目的室開放

ゆめの木教室

育児・妊婦相談、よみきかせ、ふれあいの輪をひろげよう、昔の「遊び・歌」伝承

四季のイベント

夏祭り、ハロウィン、クリスマス会、春の調べ

食で生き生き「ねぎ焼き作り・ミニ喫茶教室」

市制111周年記念協賛事業 ゆめの木「市」

貸室利用状況

	平成19年度		平成20年度	
	件数	利用者数	件数	利用者数
多目的室	230件	8,340人	401件	10,366人
創作室	262件	4,322人	345件	5,100人
談話室	183件	3,241人	369件	5,037人
ふれあい室	17件	445人	41件	1,030人
計	692件	16,348人	1,156件	21,533人

ふれあい室のデータは有料貸室時のみで無料開放時を含めていません。

・四日市市楠プラザ

楠プラザには、鈴鹿山脈をイメージして創られた木造の体育館をはじめ、多目的運動場、テニスコートなど、市民の健康づくりや体力づくり、競技力の向上などのスポーツ振興の拠点となる運動施設や、トリムコースや大型木製遊具などの散歩道のほかに、人工の山（中洲の山）や名草池があり、小川のせせらぎや四季折々の草花を楽しむことのできる公園施設がある。

また、文化・教養・福祉・健康づくりなど様々な学びの拠点として、楠公民館が併設されており、自らの学ぶ力を育む学習活動、個性をのび、ふれあいを求める趣味・文化活動を発信していくことで文化活動の継続と支援を行っている。

楠公民館図書室には、「えほんのへや」や「参考図書室」があり、図書室事業の充実に努め、蔵書数約4万6千冊を保有している。乳幼児から高齢者まで幅広い世代で活用することができ、市立図書館・あさけプラザ図書館とのネットワーク化により、新たな利用者サービスの提供を行っている。これらの複合施設が楠プラザである。

時代は日々変化しており、人々が社会教育事業に求める要望も変わってきている。複合的な施設を有するこの楠プラザは、市民の自主的な活動を活性化させるため、地域づくり・まちづくりにつながる新たな学習テーマを提供していくように努めている。

楠公民館 施設概要

- ・所在地 四日市市楠町北五味塚 1211 番地 1
- ・総事業費 約5億円
- ・竣工 昭和60年
- ・敷地面積 2,797.83㎡(総面積)
- ・建築面積 964.81㎡
- ・延床面積 1,715.19㎡
- ・構造 鉄筋コンクリート造3階建塔屋1層

施設

- ・創作、学習施設・・・大集会室・研修室・小会議室・和室・調理室・創作作業室
- ・図書室・・・図書室・参考図書室・えほんのへや
- ・その他・・・事務室・印刷室・ロビー・ラウンジ

1.平成20年度 楠公民館利用状況

開館日数	利用件数	利用者数
360日	853件	19,267人

2.平成20年度 楠公民館図書室利用状況

開館日数	蔵書総数	利用者数	貸出冊数	予約冊数
294日	47,358冊	24,648人	115,621冊	7,514冊

インターネット予約件数	相互貸借(貸出)	相互貸借(借受)	学習室利用者数	レファレンス件数
2,405人	346冊	409冊	381人	108件

よみきかせ(50回)	おはなし会(16回)
622人	254人

四日市市楠歴史民俗資料館

この資料館の主要施設である旧庄屋岡田邸は、代々庄屋の要職にあった名家であり、幾つかの古文書や神社棟札、また文政12年(1829年)の岡田家の古文書にも庄屋の記載がみられ、この頃に庄屋職を桑名藩より拝命したと推定されている。また、建物については、敷地内に祭っていた弁財天の社の中に、宝暦10年(1760年)の記載があることから建築年代は18世紀半ば、少なくとも江戸時代末期に、現在の主屋と土蔵が建築され、約250年ほど経過しているのではないかとされているほど歴史的価値が高い建造物であり、四日市市有形文化財(建造物)に指定されている。この施設の管理運営については、平成21年度からは、指定管理者制度を導入している。

施設概要

- ・所在地 四日市市楠町本郷1068番地
- ・総事業費 約1億1千万円
- ・竣工 平成17年3月29日
- ・敷地面積 932.23㎡(総面積)
- ・建築面積 366.68㎡
- ・延床面積 452.19㎡
- ・構造

主屋	木造瓦葺平屋	129.06㎡(四日市市指定有形文化財)
立会所	木造瓦葺平屋	78.84㎡(四日市市指定有形文化財)
蔵	木造瓦葺平屋	39.08㎡(四日市市指定有形文化財)
水屋	木造瓦葺平屋	2.76㎡
展示棟兼収蔵庫	木造瓦葺2階建	202.45㎡
- ・見学時間 午前9時から午後5時
- ・入館料 無料
- ・休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日又は振替休日にあたる時は、その翌日)
年未年始(12/29~1/3)・臨時休館日

施設

- ・旧庄屋岡田邸(主屋・立会所・蔵・水屋)
- ・展示棟兼収蔵庫・・・常設展示室・映像コーナー・企画展示コーナー
- ・その他・・・事務室・収蔵庫

利用状況

	平成18年度	平成19年度	平成20年度
開館日数	310日	307日	307日
来館者数	5,230人	6,110人	6,397人